

学校経営推進費 事業計画書

1. 事業計画の概要

実施課程名	全日制の課程
取り組む課題	生徒の希望する進路の実現
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> 希望進路実現率の向上 四年制大学進学者数の増加 資格取得者数の増加
計画名	ひがそう 「TRY! 東総プロジェクト」 ～ To Realize Your dream ～

2. 事業計画の具体的内容

学校経営計画の 中期的目標	<p>1 確かな学力の育成</p> <p>(1) 総合学科の特長を生かした実業教育・キャリア教育を推進し、3年間の学びで総合的な学力を育てる。 *平成31年度に進路未決定率を5%以下に、大学進学者数50人以上をめざす。</p> <p>(3) 「魅力ある授業づくり」をめざして、授業改善に組織的に取り組む。 *学校教育自己診断の「学習に関する」項目の生徒評価（H28年度 64.7%）を毎年3%ずつ引き上げ、平成31年には70%以上にする。</p>		
事業目標	<p>「TRYルーム」の創設（To Realize Your dream ルーム）</p> <ul style="list-style-type: none"> 本校の平成28年度の進路未決定率は9.7%と総合学科に改編されて、初めて10%を下回った。現在、授業でほとんど使われていない「社会科教室」を「TRYルーム」として整備し、グループワーク学習を充実させ、生徒の「言葉と感情のコミュニケーション能力」を育成することで、本校のキャリア教育をより進化させる。「産業社会と人間」や学校設定科目等の授業において参加型授業を充実させる。もって、平成28年度の進路決定率90.3%を平成31年度には100%にする。 平成28年度の本校の「学習に関する」項目の生徒の肯定的評価は、64.9%。「TRYルーム」を「アクティブ・ラーニング」の拠点とし、「ICTを活用した授業」を推し進め、「アクティブ・ラーニングの全体化」を図り、教員の授業力を向上させる。もって、生徒の肯定的評価を毎年5%ずつ引き上げ、平成31年度には80%以上にする。 多様な進路実現の成功例として、平成30年5月に実施される全国総合学科校長会総会で、全国の総合学科に発信する。 		
取組みの概要	導入・整備する 設備・物品	ワークテーブル、チェア、講演台、ACボード、インターフェイスボックス、超短焦点液晶プロジェクター ノートPC、タブレット端末、壁面ホワイトボード、HDMI受信機・送信機、AV機器収納ラック	
	取組内容	前年度	<ul style="list-style-type: none"> 地元企業経営者「フィールドコア平野」を招へいしてのキャリアディスカッションの実施。 学校設定科目「ホスピタリティ」での参加型授業実施。 パッケージ研修支援Ⅱ（理科）の実施。 授業改善プロジェクトチーム発足。パッケージ研修支援Ⅱとコラボした校内研修の実施。 電子黒板及び付属品6セットを整備。
		初年度	ICT関連企業及び大学教授による教員研修（～8月）、機器使用に向けた校内研修・ICT関連企業での校外研修（8月）、キャリア教育先進校およびアクティブ・ラーニング先進実施校へ視察（10月）、プロジェクトチームによる研究授業と研究協議・地元企業とのキャリアディスカッション・クリエイティブタイムでの使用開始（9～11月）、放課後講習や資格取得講座での活用開始（9月～）授業アンケート分析と就職決定率の検討（1月）、各系列長および教科主任による活用状況調査（2月）、生徒授業評価及び進路決定率の分析と次年度に向けた活用方法の検討（3月）
		2年目	各教科および全HRで活用（4月～）、放課後講習・資格取得講座・クリエイティブタイムでの活用（4月～）、地元の小・中学校への公開講座（8月～）、グループワーク学習・プレゼンテーション発表の場で活用（9月～）、キャリア教育先進校およびアクティブ・ラーニング先進実施校へ視察（10月）、公開授業月間での各教科による研究授業と研究協議（11月）、授業アンケート分析と就職決定率の検討（1月）、各系列長および教科主任による活用状況調査（2月）、生徒授業評価及び進路決定率の分析と次年度に向けた活用方法の検討（3月）
		3年目	各教科および全HRで活用（4月～）、放課後講習・資格取得講座・クリエイティブタイムでの活用（4月～）、系列間のコラボによるプレゼンテーション発表の場として活用（6月～）、地元の小・中学校への公開講座（8月～）、公開授業月間での各教科による研究授業と研究協議（11月）、授業アンケート分析と就職決定率の検討（1月）、各系列長および教科主任による活用状況調査（2月）、生徒授業評価及び進路決定率の分析と次年度に向けた活用方法の検討（3月）、3年間の取組みの総括（3月）
	取組みの 主担・実施者	取組みの主担：「TRY 東総！」プロジェクトチーム 取組みの実施者：各系列長、各教科主任を中心に全教員で取り組む	
成果と 評価 指標 方法	初年度	<ul style="list-style-type: none"> 進路未決定率（H28年度 9.7%）を7%以下にする。 学校教育自己診断：「学習に関する」項目の生徒評価（H28年度64.7%）を70%以上にする。 ICT機器を有効に活用して授業ができる教員を70%以上にする。 資格取得者数（H28年度 247件）を280件以上にする。 	
	2年目	<ul style="list-style-type: none"> 進路未決定率を5%以下にする。 学校教育自己診断：「学習に関する」項目の生徒評価を75%以上にする。 ICT機器を有効に活用して授業ができる教員を85%以上にする。 資格取得者数を320件以上にする。 	
	3年目	<ul style="list-style-type: none"> 進路未決定率を0%にする。（希望進路決定率100%） 学校教育自己診断：「学習に関する」項目の生徒評価を80%以上にする。 ICT機器を有効に活用して授業ができる教員を100%にする。 資格取得者数を350件以上にする。 	

3. 事業費

事業費総額	3,995,352	円
-------	-----------	---

積算内訳

科目(節)	番号	内訳	1年目	2年目	3年目	単価	数量	金額
1 報償費	1							
	2							
	3							
							小計	
2 旅費	1							
	2							
	3							
							小計	
3 消耗需用費	1	組み合わせ型スクラップタイプ(天板色メーブル×脚部ホワイト)				¥70,500	21	¥1,480,500
	2	ミーティングチェア ブラック				¥15,000	42	¥630,000
	3	EDC型演台				¥51,000	1	¥51,000
	4	タブレット端末				¥35,000	1	¥35,000
	5	壁掛け金具				¥24,000	2	¥48,000
	6	インターフェイスボックス				¥24,000	2	¥48,000
	7	ツイストペア伝送装置(送信機)				¥42,000	1	¥42,000
	8	ツイストペア伝送装置(受信機)				¥42,000	1	¥42,000
	9	2ポートHDMI分配器				¥15,000	1	¥15,000
	10	Video Extender				¥25,000	1	¥25,000
	11	セットトップボックス				¥7,900	1	¥7,900
							小計	¥2,424,400
4 維持需用費	1							
	2							
	3							
							小計	
5 役務費	1							
	2							
	3							
							小計	
6 委託料	1							
	2							
							小計	
7 使用料及び賃借料	1							
	2							
							小計	
8 備品購入費	1	ノートPC				¥115,000	1	¥115,000
	2	ビジネスプロジェクター				¥144,000	2	¥288,000
	3	ホーロホワイトボード平面 W5400×H1200				¥126,000	1	¥126,000
	4	75型マグネットスクリーン				¥58,000	1	¥58,000
							小計	¥587,000
9 工事請負費	1	プロジェクター他AV機器工事				¥250,000	1	¥250,000
	2	電源増設工事				¥58,000	1	¥58,000
	3	デスクチェア演台運搬搬入設置費				¥155,000	1	¥155,000
	4	窓下収納補修費				¥150,000	1	¥150,000
	5	ホワイトボード設置費(解体処分費含む)				¥75,000	1	¥75,000
							小計	¥688,000
10 負担金・補助及び交付金	1	消費税						¥295,952
	2							
	3							
							小計	¥295,952
							合計	¥3,995,352

積算内訳